

# もくじ

- |   |    |                 |     |      |
|---|----|-----------------|-----|------|
| ① | 1年 | 「友だちとなかよく」      | ・・・ | ウー1  |
| ② | 2年 | 「ふわふわ言葉とちくちく言葉」 | ・・・ | ウー3  |
| ③ | 2年 | 「友だちとなかよく」      | ・・・ | ウー5  |
| ④ | 3年 | 「友だちづくり」        | ・・・ | ウー7  |
| ⑤ | 3年 | 「言っていること、わるいこと」 | ・・・ | ウー9  |
| ⑥ | 4年 | 「気持ちのよい言葉」      | ・・・ | ウー11 |
| ⑦ | 4年 | 「仲のよい学級」        | ・・・ | ウー13 |
| ⑧ | 5年 | 「みんなの協力」        | ・・・ | ウー15 |
| ⑨ | 5年 | 「よりよい自然教室にしよう」  | ・・・ | ウー17 |
| ⑩ | 6年 | 「よりよい修学旅行」      | ・・・ | ウー19 |

# 「友だちとなかよく」1年生

## (ウ 望ましい人間関係の形成)

### 1. 題材について

入学したばかりの1年生と生活の場面を想定して、友だちと仲よくなるためにどうすればよいか、楽しい学校生活を送るためには、どうすればよいか考えられるよう題材を設定した。

### 2. 活動の実際

#### (1) 事前の活動

・友だちからしてもらってうれしかったことをアンケートで答える。(資料1)

#### (2) 本時の活動

##### ①ねらい

・こまっている友だちにどう接すればよいか考え、友だちと仲良く学校生活を送ろうとする。

##### ②展開

	児童の活動	評価(☆)と支援(○)	資料
導 入	1.アンケート結果を知り、感じたことを発表する。	☆アンケートの結果に関心を持ちながら自分の意見を言おうとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)	・アンケート (資料1)
展 開	2.場面を想定してどんな行動をすればよいか考える。  3.友だちと仲よくするためにはどうすればよいか話し合う。	○鉛筆を落としたのを見つけた時、泣いている子を見かけた時など普段の生活の場面を設定して考えさせる。 ○どうするとうれしいか相手意識をもって考えさせる。 ○進んで声をかける。一緒にしてあげるなど具体的にできることをあげさせる。 ☆友だちとなかよくするためにはどうすればよいか考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)	・ワークシート (資料2)
終 末	4.めあてカードを書く。	○こまっている友だちを助けていくことが友だちと仲よく過ごせることにつながる事を伝える。 ☆みんなと仲よくする方法が分かり、その大切さを理解している。 (集団活動や生活についての知識・理解)	・めあてカード (資料3)

#### (3) 事後の活動

- ・友だちにしてもらってうれしかった事をしようかいする。
- ・めあてをまもれたか振り返りをする。

### 3. 資料

#### (1) 児童の意識を高めるための資料（資料1）

1、ともだちにしてもらったことでうれしかったことはありますか。

はい・いいえ

2、「はい」とこたえたひとはどんなことですか。

3、「いいえ」とこたえたひとはどんなことをしてもらったらうれしいですか。

#### (2) ねらいを焦点化するための資料（資料2）

あなたはどうする？

あなたがすることに○をつけよう

1、えんぴつをおとしたともだちがいたとき

ひろってあげる ・ 「おちてるよ」とこえをかける ・ そのほか

2、なっているこがいたとき

せんせいをよびに行く ・ 「だいじょうぶ」とこえをかける ・ そのほか

3、あなたは友だちにどんなことをされるとうれしいですか

#### (3) 実践への意欲づけの資料（資料3）

めあてカード

名前（ ）

あなたはこまっているともだちがいたらどうしますか。

### 4. 備考

入学して間もない1年生と日常生活の中でよくあるできごとを想定し、自分はどうすればよいか考えさせることが大切である。具体的な場面を想定すること、どうすればよいかみんなで考え、その考えの中から自分ができることを考えさせることが自己決定につながっていく。実践できた時はおおいにほめて、学級集団の中で、様々な人と仲良くできる人間関係を築けるようにする。

# 「ふわふわ言葉とちくちく言葉」2年生

## (ウ 望ましい人間関係の形成)

### 1. 題材について

子どもたちが生活する上で、自分の思いをうまく伝えられず、ちょっとした一言で相手を傷つけてしまう時がある。そこで、自分の言葉についてクラスで話し合い、友だちと仲よく過ごすために考えられるような題材にした。

### 2. 活動の実際

#### (1) 事前の活動

- ・言葉遣いについてのアンケートをする。(資料1)

#### (2) 本時の活動

##### ①ねらい

自分の言葉について考え、よりよい人間関係を築くためについて考えようとしている。

##### ②展開

	児童の活動	評価 (☆) と支援 (○)	資料
導入	1. 本時のねらいを知る。	○アンケートの結果を掲示し、友だちからの言葉で傷ついている事がわかるようにする。 ☆グラフを見てクラスの友だちが言葉によって傷ついていることに気づいている。 (集団生活や生活への関心・意欲・態度)	・アンケート結果 (資料1)
展開	2. ふわふわ言葉とちくちく言葉について考え、話し合う。	○ふわふわ言葉 (相手が喜ぶ言葉) ちくちく言葉 (相手が傷つく言葉) があることを確認して話し合う。 ○児童から出た言葉を短冊に書き、黒板に掲示して分類する。 ○あいさつやお礼の言葉もふわふわ言葉である等、例を挙げ助言する。 ☆ふわふわ言葉ちくちく言葉について分かっている。 (集団活動や生活についての知識・理解)	・ワークシート (資料2) ・短冊
終末	3. 学習をふりかえり、これからのめあてを立てる。	○めあてカードに目標を書かせる。 ☆よりよい人間関係を築くために自分なりに考えてめあてをもととする。 (集団の一員としての思考・判断・実践)	・めあてカード (資料3)

#### (3) 事後の活動

- ・ふわふわ言葉を使えた、使っていた友だちを紹介する。

- ・目標カードをもとに、各自で振り返る。

### 3. 資料

#### (1) 児童の意識を高めるための資料 (資料1)

##### (資料1)

###### 学級活動アンケート


- ① あなたは友だちから言われた言葉でいやな気持ちになったことはありますか。  
は い ・ い い え
- ② それはどんな言葉を言われましたか
- ③ あなたは友だちから言われた言葉でうれしい気持ちになったことはありますか。  
は い ・ い い え
- ④ それはどんな言葉を言われましたか

#### (2) ねらいを焦点化するための資料 (資料2)

ふわふわ言葉とちくちく言葉		
月	日	名前
あなたが言いたくないちくちく言葉は何ですか		
あなたがたくさん言いたいふわふわ言葉は何ですか		

#### (3) 実践への意欲づけのための資料 (資料3)

これまでの行動をふりかえり、これからのめあてを書きましょう。
ふわふわ言葉が いっぱい クラスに していこうね☆



### 4. 備考

アンケートの結果をグラフに表し、「クラスでは友だちの言葉で傷ついている人がいる」事を意識させて学習に入る。学期の始まりなどに行い、よりよい人間関係作りには言葉が大切であることを確認し、折に触れ、支援していく。

# 「友だちとなかよく」2年生

## (ウ 望ましい人間関係の形成)

### 1. 題材について

2年生になると学校生活にも慣れ、友だちとのかかわりも増えてくる。グループでの活動もできるようになり、協力する事の楽しさも感じてきている。そこで、相手の気持ちを考えてグループ活動をして、友だちと仲良くするためにはどうすればよいか考えられる題材を設定した。

### 2. 活動の実際

#### (1) 事前の活動

・友だちとの過ごし方について答えるアンケートを書く。(資料1)

#### (2) 本時の活動

##### ①ねらい

・相手の気持ちを考えながらグループ活動をし、仲よく過ごそうとする。

##### ②展開

	児童の活動	評価(☆)と支援(○)	資料
導 入	1.本時のねらいを知る。 ・アンケート結果を知らせる。	☆アンケートの結果から友だちの大切さについて関心をもとうとしている。  (集団活動や生活への関心・意欲・態度)	・アンケート結果 (資料1)
展 開	2.グループの旗作りをする。  3. 仲よく活動するためにはどうすればよいか話し合う。	○旗づくりのやり方を説明しグループで協力しながら活動する。 ○役割分担をしてなかよくできるよう支援する。 ○上手に描くことよりも、一人一人の意見を取り入ながら活動していくことをおさえる。 ○良かったことなど発表し、仲よく活動するためにはどうすればよいか話し合わせる。 ☆友だちと仲良くするためにどうすればよいか理解している。  (集団活動や生活への知識・理解)	・ワークシート (資料2)
終 末	4.今日の活動を通して、これからの目標を立てる。	☆これからの生活をよりよくするための目標を立てることができる。  (集団の一員としての思考・判断・実践)	・めあてカード (資料3)

#### (3) 事後の活動

・友だちと過ごして楽しかったことを帰りの会等で発表する。

### 3. 資料

#### (1) 児童の意識を高めるための資料 (資料1)

がっきゅうかつどうアンケート

1、あなたはグループの友だちとなかよく活動できますか？

はい・いいえ

2、あなたはこまっている友だちに声をかけることができますか？

はい・いいえ

3、友だちの話を聞かないで自分のいけんを言ってしまったことはありますか？

はい・いいえ

#### (2) ねらいを焦点化するための資料 (資料2)

グループのはたをつくろう。



なかよくかつどうするために

どうすればよいか考えよう



#### (3) 実践への意欲づけの資料 (資料3)

めあてカード

名前 ( )

1、グループのめあてを守るために自分ができるところを書こう。



### 4. 備考

アンケートの結果や、グループ活動から、友だちと仲よくすることの大切さを伝える。その際、活動に終始するのではなく、活動を行った後の話し合いを大切にしたい。仲良くするためにはどうすればよいか活動の中から感じた事を発表し、これからの自分のめあてを考えさせること重要である。そのためにも導入、活動の時間に気をつけて指導する。

# 「友だちづくり」3年生

## (ウ 望ましい人間関係の形成)

### 1. 題材について

4月の出会いの時期から2カ月ほど経つと学校生活にも慣れ、友だちとも親しくなってくる。その反面、些細なことで、けんかになってしまうことがある。そこで、けんかをしないで仲よくすごすためにはどうすればよいか、話し合い、考えられるように題材を設定した。

### 2. 活動の実際

#### (1) 事前の活動

- ・友だちとの過ごし方について答えるアンケートを書く。(資料1)
- ・結果をグラフにして表にまとめておく。

#### (2) 本時の活動

##### ①ねらい

- ・けんかが起きてしまった時にどのようにすればよいか話し合い、自分の目標をもととする

##### ②展開

	児童の活動	評価(☆)と支援(○)	資料
導入	1. 本時のねらいを知る。 ・アンケート結果を知らせ、感想を発表する。	☆アンケートの結果から友だちの大切さについて関心をもとうとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)	・アンケート結果 (資料1)
展開	2. けんかをしてしまうときはどんな時なのか発表する。 3. けんかをしないためにはどうすればよいか、話し合う。	○「遊ぶ約束をした時」「いじわるされた時」等具体的な場面をいくつか出させる。 ○けんかをしてしまった時だけではなく、普段から気をつけられることはないか考えを出させる。 ○言葉だけでなく、態度でも人間関係がよくなることを伝える。 ☆けんかをしないで仲よくする方法を考えることができる。 (集団の一員としての思考・判断・実践)	・ワークシート (資料2)
終末	4. 友だちを大切にするためにこれからの目標を立てる。	☆おたがいの事を考えて、仲よくなるためにできることを理解している。 (集団生活や生活への知識・理解)	・めあてカード (資料3)

#### (3) 事後の活動

- ・友だちと過ごして楽しかったことなどを帰りの会等で発表する。
- ・目標を立てたことを実践しているかを定期的にふりかえる。



### 3. 資料

#### (1) 児童の意識を高めるための資料 (資料1)

学級活動アンケート

1、あなたはなかのよい友だちがクラスの中にいますか

はい・いいえ

2、あなたは友だちとけんかしてしまったことはありますか？

はい・いいえ

「はい」と答えた人に聞きます。どんな時に友だちとけんかをしてしまいましたか？

「いいえ」と答えた人に聞きます。友だちとなかよくすごすコツはありますか？

#### (2) ねらいを焦点化するための資料 (資料2)

1、けんかをしてしまう時は、どんな時ですか。

2、1でけんかをしてしまった時にどうすればよいのか考えた事を書こう。

#### (3) 実践への意欲づけの資料 (資料3)

めあてカード

名前 ( )

友だちを大切にするためにこれからがんばりたいことを書いてみよう。

### 4. 備考

よりよい人間関係を築くためには、認め合うことが大切である。けんかをしてしまう原因を考えたり、けんかをしないためにできることを考えたりして、お互いを思い合える関係作りができるよう支援していく。

# 「言っているいいこと悪いこと」3年生

## (ウ 望ましい人間関係の形成)

### 1. 題材について

子どもは、普段の生活で相手からの何気ない一言で傷つく時がある。言葉にも言っているいい事悪い事があり、よりよい人間関係を築くために大切な言葉について話し合えるような題材にした。

### 2. 活動の実際

#### (1) 事前の活動

- ・毎日の生活についてのアンケートをする。(資料1)
- ・結果を見やすくまとめておく。

#### (2) 本時の活動

##### ①ねらい

言っているいいこと悪い事について考え、相手のよさを見つける事について話をしようとする。

##### ②展開

	児童の活動	評価 (☆) と支援 (○)	資料
導入	1. 本時のねらいを知る。	○アンケートの結果から、言っているいいこと悪い事についてクラスの実態を知らせる。 ☆言葉についてクラスの実態に気付こうとしている。 (集団生活や生活への関心・意欲・態度)	・アンケート結果 (資料1)
展開	2. 言っているいいこと悪いことについて考え、話し合う。	○悪い言葉は相手の身体的特徴や相手の気持ちを考えずに出ていることを確認させる。 ○身体的な特徴や心ない言葉よりも友だちのよいところ、すごいと思う所を考えさせる。 ○自分にはできない事、まねしたい所などをあげ、よさを見つけるための視点を伝える。 ☆言っているいい事悪い事を理解している。 (集団活動や生活についての知識・理解)	・ワークシート (資料2)
終末	3. これからの生活について、めあてを立てる。	○めあてカードに目標を書かせる。 ○具体的に書けるよう声かけをする。 ☆自分で心がけたいことを具体的に書いている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)	・めあてカード (資料3)

#### (3) 事後の活動

- ・目標カードをもとに、各自で振り返る。

### 3. 資料

#### (1) 児童の意識を高めるための資料（資料1）

学級活動アンケート	
1. あなたが考える、言っている事、わるい事はどんな事ですか。思った事、言葉を書きましょう。	
言っていること	悪いこと

#### (2) ねらいを焦点化するための資料（資料2）

言っていること悪いこと	
言っていることを書こう	言っている悪いことを書こう
どんなとくちょうがありますか	どんなとくちょうがありますか。

#### (3) 実践への意欲づけのための資料（資料3）

いっていることわるいこと あなたはこれからの生活でどんなことに気をつけますか。
--

### 4. 備考

低学年の指導から、今回は相手の身体的特徴、家柄など、人権尊重にかかわる言葉についてふれ、児童それぞれのよさについても考えさせたい。嫌な事を見つけるのではなく、いいところを見つけられるよう支援して、よりよい人間関係作りができるようにする。

# 「気持ちのよい言葉」 4年生

## (ウ 望ましい人間関係の形成)

### 1. 題材について

子どもたちは、同じ言葉でも、声の感じや態度によって感じ方が変わってくる。日常生活を振り返り、自分の言葉遣いについて考えられるよう題材を設定した。

### 2. 活動の実際

#### (1) 事前の活動

- ・毎日の生活についてのアンケートをする。(資料1)
- ・結果をグラフに表し、見やすくまとめておく。

#### (2) 本時の活動

##### ①ねらい

日常の言葉遣いについて話し合い、相手の事を考えた言葉遣いをしようとする。

##### ②展 開

	児童の活動	評価 (☆) と支援 (○)	資料
導 入	1. 本時のねらいを知る。	○アンケートの結果から、言葉遣いについてクラスの実態を知らせる。 ☆言葉遣いの大切さに気付こうとしている。 (集団生活や生活への関心・意欲・態度)	・アンケート結果
展 開	2. 気持ちのよい言葉について考え、話し合う。	○学校生活の場面を想定し、その時に合う言葉遣いについて考えさせる。 ○その時の話す態度や口調によっても相手の感じ方が変わる事を確認する。 ○気持ちのよい言葉を使うためにどのようにすればよいか話し合わせる。 ☆気持ちのよい言葉遣いが分かり、使うことのよさを理解している。 (集団活動や生活についての知識・理解)	・ワークシート (資料2)
終 末	3. 気持ちのよい言葉について、めあてを立てる。	○めあてカードに目標を書かせる。 ☆気持ちのよい言葉遣いをするためにどんなことを心がけたらよいか考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)	・めあてカード (資料3)

#### (3) 事後の活動

- ・目標カードをもとに、各自で振り返る。

### 3. 資料

#### (1) 児童の意識を高めるための資料（資料1）

学級活動アンケート				
1. あなたは友だちの言葉づかいが気になる時がありますか。				
はい		いいえ		
2. それはどんな時ですか。				
朝の時間	授業中	休み時間	給食時間	掃除の時間
3. どんな言葉づかいですか。				

#### (2) ねらいを焦点化するための資料（資料2）

気もちのよい言葉について考えよう	
朝の時間 どのようにあいさつしますか。	
授業中 どのような言葉づかいに気をつけますか。	
休み時間 どのような言葉づかいに気をつけますか。	
給食時間 どのような言葉づかいに気をつけますか。	
掃除の時間 どのような言葉づかいに気をつけますか。	

#### (3) 実践への意欲づけのための資料（資料3）

気もちのよい言葉	
あなたはこれから気もちのよい言葉を使うためにどんなことに気をつけますか。	
<input type="text"/>	の時は

### 4. 備考

実態に応じて、あいさつに注目して話合いをしたり、場面をしぼったりして話合いしたりすることも考えられる。相手の気もちになって考えた言葉遣いを通して、よりよい人間関係、友だち作りができるよう、振り返りやできたことを伝えていくことが大切である。

# 「仲のよい学級」 4年生

## (ウ 望ましい人間関係の形成)

### 1. 題材について

4年生は、自分たちで自主的に行動していく機会が増えていく学年である。また、自己主張が強まり、お互いの意見がぶつかりやすい時期でもある。そこで、お互いのちがいを認め合い、仲よくするためにはどうすればよいか考え、話し合えるよう題材を設定した。

### 2. 活動の実際

#### (1) 事前の活動

・友だちとの過ごし方について答えるアンケートを書く。(資料1)

#### (2) 本時の活動

##### ①ねらい

・一人一人の違いを認め、仲のよいクラスにするにはどうすればよいか考えようとしている。

##### ②展開

	児童の活動	評価 (☆) と支援 (○)	資料
導入	1. 本時のねらいを知る。 ・アンケート結果を知らせ、感想を発表する。	○クラスの実態を見て、いろいろな場面で考え方の違いがあることを確認させる。 ☆アンケートの結果からクラスの実態に関心をもとうとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)	・アンケート結果
展開	2. 友だちと考え方がちがった時にどうすればよいか話し合う。	○具体的な場面をあげて、考えを出しやすくさせる。 ○意見が出ない場合はグループで意見を出し合い、いろいろな考え方をださせる。 ○お互いのよさも認め合えるよう、友だちのよさも出させ合う。 ☆ちがいを認め、協力できる学級にするための方法を理解している。 (集団活動や生活についての知識・理解)	・ワークシート (資料2)
終末	3. 仲の良いクラスを作るために自分の目標を立てる。	○自分ができる事を具体的に書かせる。 ☆考え方のちがいを認め、よりよい学級を作るためにどうすればよいか考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)	・めあてカード (資料3)

#### (3) 事後の活動

・めあてカードをもとにふりかえりをする。

### 3. 資料

#### (1) 児童の意識を高めるための資料 (資料1)

1、あなたは友だちと考え方がちがうなと感じることはありますか？

あ る ・ な ・ い

2、それはどんな時ですか。

3、あなたが感じる友だちのよいところをたくさん書いてみよう。

#### (2) ねらいを焦点化するための資料 (資料2)

友だちのよさを見つけよう

○グループの友だちのよさをみつけて書きましょう。

○クラスの友だちのよいところをみつけて書こう。

#### (3) 実践への意欲づけの資料 (資料3)

めあてカード

名前 ( )

仲の良いクラスにするために自分ができることを書いてみよう。

### 4. 備考

遊ぶ約束をするとき、けんかをした時など、共感できる場面を想定して話し合わせる大切である。このような題材は個々に応じて実践されるものであり、活動の最後のめあてを児童それぞれが自己決定できるよう支援しなければならない。

# 「みんなの協力」5年生

## (ウ 望ましい人間関係の形成)

### 1. 題材について

子どもたちは様々な班での活動を経験しているが、男女で小集団ができたり、関わる友だちが限定的になったりしてしまう時がある。よりよい学級集団を作る上で自分に出来ることを考えさせられるよう題材を設定した。

### 2. 活動の実際

#### (1) 事前の活動

- ・児童の実態を知るアンケートをする。(資料1)
- ・結果を表にまとめ、見やすくする。

#### (2) 本時の活動

##### ①ねらい

話合いをして協力、信頼し、支え合える学級にするために自分ができることを考えようとしている。

##### ②展 開

	児童の活動	評価 (☆) と支援 (○)	資料
導 入	1. 本時のねらいを知る。	○アンケートの結果を掲示し、クラスで困ったことがある事が分かるようにする。 ☆グラフを見てクラスの実態に気づき、気づいたことを発表しようとしている。 (集団生活や生活への関心・意欲・態度)	・アンケート結果
展 開	2. 班で協力するためにはどうすればよいか話し合う	○協力できた時、できなかった時の違いを考えさせる。 ○今までの学校生活を振り返らせて原因を考えさせる。 ○協力するためにどんな事に気をつければよいか話し合う。 ☆誰とでも協力し合える学級にするために自分にできることについて考えようとしている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)	・ワークシート (資料2)
終 末	3. 学習をふりかえり、これからのめあてを立てる。	○めあてカードに目標を書かせる。 ○めあてが書けない児童にはこれまでの経験を思い出させ個別に助言をする。 ☆協力の仕方が分かり、誰とでも協力し合える学級のよさを理解している。 (集団活動や生活についての知識・理解)	・めあてカード (資料3)

#### (3) 事後の活動

- ・協力してできた事を帰りの会等で発表する。



- ・目標カードをもとに、各自で振り返る。

### 3. 資料

#### (1) 児童の意識を高めるための資料（資料1）

##### 学級活動アンケート

1. あなたはどんな時協力できましたか。
2. あなたはどんな時、力を合わせて活動できなかったですか。

#### (2) ねらいを焦点化するための資料（資料2）

##### 協力することについて

1. 活動をして、協力することについて感じたことはありますか。
2. 協力するためにはどんな事に気をつければよいでしょうか。

#### (3) 実践への意欲づけのための資料（資料3）

##### みんなの協力

あなたはこれからクラスのみんなど協力するためにどんなことに気をつけますか。

### 4. 備考

よりよい学級集団を作るためには男女の協力が不可欠である。行事でのがんばりを振り返らせたり、係で楽しく活動出来たときなどを振り返らせ、協力する事の大切さを実感させながら話し合い、これからの生活へのめあてを自己決定できるようにする。

# 「よりよい自然教室にしよう」5年生

## (ウ 望ましい人間関係の育成)

### 1. 題材について

八ヶ岳自然教室は5年生で一番大きな行事であり、ほとんどの子が楽しみにしている。2泊3日の宿泊を通して、集団のルールを守り、友達と協力し合って様々な活動をしていく。そうした中で、一人ひとりがよりたくましく成長し、学級や学年集団としても向上できるチャンスであるといえる。自然教室で一人ひとりが成長し、集団として高まっていくよい機会とするために本題材を設定した。

### 2. 活動の実際

#### (1) 事前の活動

- ・自然教室のめあてを決めておく。
- ・自然教室についてのアンケートをとる。

#### (2) 本時の活動

##### ①ねらい

- ・自然教室の活動に見通しをもち、みんなで楽しめる自然教室にするために大切なことを考えて、めあてを決めようとする。

##### ②展 開

	児童の活動	評価(☆)と支援(○)	資料
導 入	1. 自然教室のアンケート結果を知る。 ・キャンプファイヤーはやっぱり人気があるね。 ・オリエンテーリングは迷わないかな。	○簡単な解説を加えながらアンケート結果を知らせる。 ☆アンケート結果を見て気づいたことを進んで発表しようとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)	・自然教室お楽しみベスト5 (資料1)
展 開	2. 自然教室では何を学び、みんなで楽しむためにはどんなことが大切か考える。(キーワード) ・自然・友達(友情)・協力 ・安全 ・マナー ・自分の事は自分で。 3. 6年生からのアドバイス(ビデオレター)を見る。	○キーワードごとに分類しながら板書する。 ☆自然教室のねらいやみんなで活動するためのルールや約束事について理解している。 (集団活動や生活についての知識・理解)	・自然教室で何を学ぶ (資料2-①) ・6年生からのビデオレター (資料2-②)
終 末	4. キーワードや6年生からのアドバイスを生かしてめあてを決める。	○自分が大切にしたい活動にしぼってめあてを考えるように助言する。 ☆みんなで楽しめる自然教室にするためにめあてを考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)	・めあてカード (資料3)

#### (3) 事後の活動

- ・自然教室終了後、めあてを意識して活動ができたかを振り返りカードに書く。

### 3. 資料

児童の意識を高めるための資料（資料1）

#### 自然教室アンケート

5年組（ ）名前 \_\_\_\_\_

自然教室について教えてください。

- ① 自然教室で楽しみにしていることを1つあげてください。
- ② 自然教室をみんなで楽しむためには、どんなことが大切でしょうか。大切だと思うことを書いてください。
- ③ 自然教室で心配なこと、気になっていることがあったら書いてください。

ねらいを焦点化するための資料（資料2-①）

#### 自然教室で何を学ぶ？

5年組（ ）名前 \_\_\_\_\_

1. 何を学ぶために自然教室に行くのでしょうか。
2. 自然教室をみんなで楽しむためにはどんなことが大切でしょうか。

6年生からのビデオレター（資料2-②）



八ヶ岳ではグループで行動することが多いです。だから、友だちと意見が合わないときもあります。そんなときには、友だちを信頼して、その子の意見を聞き入れることも大切です。

実践への意欲づけのための資料（資料3）

#### 自然教室のめあて

5年組（ ）名前 \_\_\_\_\_

- <めあて>
- <理由>
- <自然教室を終えて>

### 4. 備考

ねらいの焦点化を図るために「6年生からのビデオレター」を取り入れた。子供たちは真剣に見入って、6年生からのメッセージを受けとめていた。効果的に活用するために、どんな内容のメッセージを伝えて欲しいか、事前に6年生と入念な打ち合わせをしておく必要がある。

# 「思い出に残る修学旅行にしよう」 6年生

## (ウ 望ましい人間関係の形成)

### 1. 題材について

修学旅行は、6年生が一番楽しみにしている行事の一つである。修学旅行の活動を考える中で、友だちとのかかわりを再確認し、お互いの良さを見つめ直すことで、子ども達のよりよい人間関係を形成していきたい。そして、6年間の最高の思い出の一つにしてもらいたいと願っている。

### 2. 活動の実際

#### (1) 事前の活動

- ・修学旅行についてのアンケートをとる。(資料1)

#### (2) 本時の活動

##### ①ねらい

- ・友だちとのかかわりを深め、最高の思い出になる修学旅行にしようとする意識をもち、そのために、友だちの考えを知り、自分ができることを考え、実践しようとする。

##### ②展開

	児童の活動	評価 (☆) と支援 (○)	資料
導入	1. 修学旅行のねらいやスローガンを確認したうえで、お互いの気持ちを発表し合う。	○修学旅行への気持ちを発表することで、楽しみな思いや不安な思いなど、修学旅行に対する友だちの考えを知ることができるようにする。 ☆気づいたことを進んで発表しようとしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)	
展開	2. アンケート結果を見て、気がついたことを発表し合う。 3. 電車・部屋での活動・見学場所について、友だちとどうかかわりたいか話し合う。 4. 修学旅行で意識すべき行動について発表し合う。	○アンケート結果を見て、友達が楽しみにしていることや不安や心配に思っていることがあることに着目させる。 ○修学旅行で友達とかかわる場面を具体的に提示して、考えやすいようにする。 ○クラス目標を示し、クラスが目指す姿を再確認させる。 ☆修学旅行で友だちとのかかわりを深めていくためにどうすればよいか、理解している。 (集団活動や生活についての知識・理解) ○発表された内容について、友だちとのかかわり方を取り上げ、認める。	・アンケート結果(資料1) ・修学旅行の行程表(資料2) ・クラス目標
終末	5. 話し合ったこと発表された内容をもとに、自分のめあてを書く。	○自分を実践できるようなめあてを書くように伝える。 ☆友だちとのかかわり、修学旅行の活動を考えて、自分ができるようなめあてを立てている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)	・めあてカード(資料3)

### (3) 事後の活動

- ・ 修学旅行において、自分が立てためあてを意識しながら行動する。
- ・ 修学旅行から帰り、ふりかえりカードを記入する。

## 3. 資料

### (1) 児童の意識を高めるための資料(資料1)

修学旅行アンケート

1. 修学旅行は楽しみですか

はい・いいえ

2. 修学旅行で一番大切にしたい事はどんな事ですか

3. よりよい修学旅行にするために、それぞれの活動でどのようにすればよいと思いますか。

電車の中  
見学  
体験活動  
部屋

4. 修学旅行で心配なことがありますか。

### (2) 狙いを焦点化するための資料(資料2)

修学旅行での活動でどのような事に気をつけますか

電車の中で

見学している時

体験活動をしている時

部屋で過ごし方

### (3) 実践への意欲づけのための資料(資料3)

「思い出に残る修学旅行にしよう」

6年 組 ( )

1. 話し合いの中で心に残った友だちの発表はなんですか。

2. よりよい修学旅行にするために、頑張りたいことや心がけたいことを書きましょう。

## 4. 備考

修学旅行を楽しみにするあまり、冗談やふざけ合う雰囲気生まれないようにしたい。修学旅行のめあてやクラス目標を掲げ、望ましい集団活動について考え、卒業に向けてのよりよい人間関係作りとなるよう声をかけ、支援していくことが大切である。